

第一部拡大役員会（第25期・第2回）

議事要旨

1. 開催日 令和3年3月6日（土）9時30分～11時
2. 場所 オンライン
3. 出席者 高村ゆかり、橋本伸也、溝端佐登史、日比谷潤子、吉田和彦、吉岡洋、西田眞也、佐藤嘉倫、若尾政希、川嶋四郎（法学委員会和田委員長の代理）、苅部直、岡崎哲二、宇山智彦（地域研究委員会小長谷委員長の代理）、西尾チヅル
事務局：高橋雅之、小川保彦、昨間美里

4. 議題

（1）報告事項

部長から、資料に基づき1) 12月以降の幹事会を中心とした活動、2) 特任連携会員の任命について、3) 「日本学術会議のよりよい役割発揮に向けて」報告案の策定、第一部附置分科会の各委員長・世話人から4) 部附置分科会等の状況について報告があった。人文・社会科学基礎データ分科会と、心理学・教育学委員会西田委員長から提案のあった新設予定の分野別委員会合同のデジタル人文学分科会に関しては、前者が明確化された基準のもとで収集した各種データのウェブ公開を中心とするのに対して、後者は人文社会科学が情報学との連携により新たな価値を創出するための基盤作りを目指すことが確認された。なお、基礎データ分科会から要望のあった学術調査員の雇用について事務局から事情説明が行われ、分科会で準備を進めることになった。

（2）審議事項

部長から1) 第25期第一部活動方針について、副部長・事務局から2) 令和3年度予算執行方針および委員会・分科会等分配案についてそれぞれ資料に基づき説明が行われた。予算執行方針については、拡大役員会での確認を受けて新年度開始を前に会員・分科会委員長に伝達し、4月の部会で再確認していただくことになった。活動方針に関連して、コロナ対応WGメンバーである幹事から、学術フォーラムの開催（シリーズ化）、ウェブサイトの充実に取り組んでいくことを補足した。3) 夏季部会は、オンラインまたは東京での開催が確認された。

以上